



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日
東

上場会社名 株式会社ムロコーポレーション 上場取引所
コード番号 7264 URL <http://www.muro.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 室 雅文
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼 (氏名) 山口 誉 (TEL) 03-3703-4123
総務人事部長
四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	13,994	5.4	1,276	29.4	1,192	△20.5	862	0.8
27年3月期第3四半期	13,274	7.5	986	25.8	1,500	56.4	855	47.8

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 770百万円(△22.0%) 27年3月期第3四半期 987百万円(26.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	139.41	—
27年3月期第3四半期	138.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	18,976	12,083	63.7	1,953.33
27年3月期	17,867	11,468	64.2	1,853.84

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 12,083百万円 27年3月期 11,468百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	18,790	5.3	1,680	21.8	1,838	△2.8	1,210	8.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期3Q	6,546,200株	27年3月期	6,546,200株
28年3月期3Q	359,934株	27年3月期	359,884株
28年3月期3Q	6,186,303株	27年3月期3Q	6,186,316株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続きの対象外であり、この四半期決算の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、夏からの中国経済に対する不安感が徐々に薄れ、全体的には持ち直し傾向で比較的堅調に推移しました。このような環境の中、年末にはフランスのパリでは同時多発テロが発生し、米国がゼロ金利政策を解除して利上げに踏み切る等、大きな動きがありました。年が明けて第4四半期に入り、米国利上げに伴う資金の逆回転に中国経済不安の再燃、原油安、テロ頻発や北朝鮮核実験等が絡み合い、近年稀に見る先行き不透明な情勢となりました。

一方国内経済につきましては、当第3四半期連結累計期間までは比較的堅調に推移しましたが、今年に入ってから安全資産とされる円が買われて円高株安となり、日経平均株価も年初から6営業日続落するなど波乱の幕開けとなりました。このような不安定な情勢を受けて日銀はマイナス金利を導入し、金融政策も新たな局面へと移行しました。製造業の一部には国内回帰の動きも見られますが、経営環境はより一層不透明感を増していると感じております。

当社グループの主要取引先であります自動車業界の当第3四半期連結累計期間の状況は、国内販売台数は3,467千台（前年同期比6.7%減）と増税の影響による軽自動車の落ち込み等に伴い減少、輸出台数は3,473千台（前年同期比2.6%増）と円安定着効果により6四半期累計期間ぶりに増加に転じましたが、国内生産台数は6,798千台（前年同期比4.4%減）と国内需要の落ち込みを補いきれずに減少し、2011年第3四半期連結累計期間以来の7百万台割れとなりました。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は13,994百万円（前年同期比5.4%増）となりました。損益につきましては、海外子会社の収益が改善し、営業利益は1,276百万円（前年同期比29.4%増）となりましたが、前期発生した円安に伴う為替差益が消え、インドネシアルピア安による為替差損が増加したことにより、経常利益は1,192百万円（前年同期比20.5%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は862百万円（前年同期比0.8%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 車輛関連部品事業

当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は、13,138百万円（前年同期比4.0%増）となりました。国内は普通乗用車以外の生産が前年同期比で減少しましたが、当社受注品におきましては新機種・次期開発品の受注が増加したこともあり、全体的に堅調に推移しました。また、海外は生産が前年同期比で増加したことに伴い、海外生産対応品の受注が増加しました。

② その他

当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は、855百万円（前年同期比32.4%増）となりました。国内は連続ねじ締め機関連の売上が堅調に推移しましたことと、建築部材用設備や太陽光発電関連部材の売上が伸長したことにより増加しました。海外はカナダで受注が伸びた上に米ドル高効果が上乗せされたことと、米国の住宅市場が堅調に推移したことにより増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

総資産は、18,976百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,108百万円増加しました。主な増加は現金及び預金1,215百万円、電子記録債権231百万円、投資有価証券169百万円、投資その他の資産の繰延税金資産87百万円であり、主な減少は受取手形及び売掛金131百万円、有形固定資産484百万円であります。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ492百万円増加し6,892百万円となりました。主な増加は支払手形及び買掛金447百万円、未払金299百万円、長期借入金279百万円であり、主な減少は短期借入金100百万円、1年内返済予定の長期借入金251百万円、賞与引当金139百万円であります。

(純資産の部)

純資産は前連結会計年度末に比べ615百万円増加し、12,083百万円となりました。主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益862百万円であり、主な減少は剰余金の配当金154百万円及び為替換算調整勘定の減少94百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は63.7%（前連結会計年度末は64.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月14日に「平成27年3月期決算短信」で発表いたしました業績予想を変更しておりません。なお、予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因の変化によって大きく異なる結果となる可能性があります。今後修正の必要性が生じた場合は、適時かつ適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,858,032	5,073,831
受取手形及び売掛金	2,948,667	2,817,380
電子記録債権	1,027,292	1,258,899
商品及び製品	562,084	636,313
仕掛品	280,419	259,443
原材料及び貯蔵品	320,252	303,230
繰延税金資産	170,399	92,526
その他	271,796	245,513
流動資産合計	9,438,944	10,687,138
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,750,528	5,701,720
減価償却累計額	△3,639,418	△3,706,926
建物及び構築物（純額）	2,111,110	1,994,793
機械装置及び運搬具	11,141,034	11,115,017
減価償却累計額	△8,625,387	△8,870,946
機械装置及び運搬具（純額）	2,515,647	2,244,070
土地	1,760,330	1,687,775
建設仮勘定	89,148	126,221
その他	4,877,365	4,957,850
減価償却累計額	△4,551,025	△4,692,508
その他（純額）	326,340	265,341
有形固定資産合計	6,802,576	6,318,202
無形固定資産	151,672	148,065
投資その他の資産		
投資有価証券	1,058,992	1,228,888
長期貸付金	22,159	27,907
繰延税金資産	20,239	108,169
退職給付に係る資産	—	72,831
その他	378,398	389,892
貸倒引当金	△4,986	△5,006
投資その他の資産合計	1,474,802	1,822,682
固定資産合計	8,429,051	8,288,950
資産合計	17,867,996	18,976,089

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,582,614	3,030,480
短期借入金	300,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	465,608	214,129
未払金	687,120	986,504
未払法人税等	149,216	109,922
賞与引当金	337,472	197,563
役員賞与引当金	16,280	12,678
その他	498,042	481,463
流動負債合計	5,036,356	5,232,743
固定負債		
長期借入金	1,030,482	1,309,889
繰延税金負債	149,601	165,655
役員退職慰労引当金	23,128	21,057
退職給付に係る負債	75,095	88,618
その他	84,859	74,306
固定負債合計	1,363,167	1,659,528
負債合計	6,399,524	6,892,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,095,260	1,095,260
資本剰余金	904,125	904,125
利益剰余金	9,004,322	9,712,150
自己株式	△182,442	△182,507
株主資本合計	10,821,266	11,529,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	349,567	353,075
為替換算調整勘定	234,575	139,886
退職給付に係る調整累計額	63,062	61,826
その他の包括利益累計額合計	647,205	554,788
純資産合計	11,468,472	12,083,817
負債純資産合計	17,867,996	18,976,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	13,274,012	13,994,378
売上原価	10,647,239	11,052,077
売上総利益	2,626,773	2,942,300
販売費及び一般管理費	1,640,123	1,665,846
営業利益	986,650	1,276,454
営業外収益		
受取利息	3,068	4,958
受取配当金	16,822	18,264
為替差益	445,258	—
その他	70,869	53,660
営業外収益合計	536,019	76,883
営業外費用		
支払利息	11,786	17,407
為替差損	—	134,837
減価償却費	7,647	6,745
その他	2,645	2,022
営業外費用合計	22,079	161,012
経常利益	1,500,590	1,192,325
特別利益		
投資有価証券売却益	13,500	—
その他	82	—
特別利益合計	13,582	—
特別損失		
固定資産除却損	1,210	5,966
会員権評価損	2,855	—
役員退職特別功労金	200,000	—
特別損失合計	204,066	5,966
税金等調整前四半期純利益	1,310,107	1,186,359
法人税、住民税及び事業税	218,657	325,155
法人税等調整額	235,964	△1,282
法人税等合計	454,621	323,873
四半期純利益	855,485	862,485
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	855,485	862,485

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	855,485	862,485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85,766	3,507
為替換算調整勘定	45,679	△94,688
退職給付に係る調整額	126	△1,236
その他の包括利益合計	131,572	△92,417
四半期包括利益	987,057	770,068
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	987,057	770,068
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	車両関連部品 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	12,627,484	646,528	13,274,012	—	13,274,012
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,627,484	646,528	13,274,012	—	13,274,012
セグメント利益	1,309,951	88,604	1,398,556	△411,906	986,650

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

2. セグメント利益の調整額△411,906千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	車輛関連部品 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	13,138,532	855,845	13,994,378	—	13,994,378
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,138,532	855,845	13,994,378	—	13,994,378
セグメント利益	1,574,390	120,011	1,694,402	△417,947	1,276,454

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ
連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

2. セグメント利益の調整額△417,947千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれ
ております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。